

インフルエンザ流行拡大しています

今シーズンは、新型コロナウイルス感染症の影響でインフルエンザの流行が低調であったことによりインフルエンザウイルスに対する抗体の保有率が全年齢で低下傾向にある事等から、インフルエンザの流行が起こりやすい状況にあると考えられています。

実際に夏から流行が継続しており、例年より早く本格的な流行が発生する可能性があります。以下を参考にして感染予防に努めましょう。

予防のためにできること

- ◇ 手洗い・手指衛生の徹底 ⇒ 接触感染防止
- ◇ 換気
- ◇ 十分な休養とバランスの取れた食事 ⇒ 抵抗力を保つ
- ◇ 湿度を 50～60%に保つ ⇒ のど・気道粘膜の防御機能維持
- ◇ ワクチン接種 ⇒ 発症抑制・重症化予防 有効期間は 5 か月
- ◇ マスクの使用
- ◇ 人ごみを避ける ⇒ 感染機会を増やさない

《今シーズンのワクチン》

A 型(H1N1・H3N2)

B 型(山形系統・ビクトリア系統)の4価ワクチンです

* 毎年わずかな抗原性の変異が生じていますので
毎年接種することが必要です。

インフルエンザの基礎知識

- 急性の呼吸器感染症で潜伏期間は 1～3 日
体に入ったウイルスは感染から 1 日半ほどでピークに達し 6 日ほどでウイルス放出は収束すると言われています。
- 人への感染は、症状が出始める 1 日前から、症状の出た 2 日目までがピークですが 7 日目頃までウイルスを放出します。
- 主な感染経路は、咳・くしゃみ・会話等の飛沫と手指を介した接触感染
- 症状は急激な 38 度以上の発熱・頭痛・倦怠感・筋肉痛・関節痛、それらに引き続いて鼻汁・咳が出現する
- 通常のカゼに比べ、全身症状が強い
- 1 週間前後で軽快しますが、重症化リスクのある方は注意が必要です
- 症状のみでコロナとの判別は困難です

カネカ健保ではインフルエンザ予防接種費用の補助を行っています。
INFORMATION をご確認の上、ご利用ください。